

子どもの教育支援へ 結城市に100万円寄付

筑西の建設会社

筑西市の建設業、関東道路(同市下川島)は4日、子どもの教育に役立ててほ



しいと結城市に100万円を企業版ふるさと納税で寄付した。武藤正浩社長「写真左」が同市役所を訪れ、小林栄市長から感謝状が贈られた。

同社は結城市と筑西市内に工場を構え、東日本震災が発生した2011年から市の復興と発展のために寄付を続けてきた。今年で14回目になる。

武藤社長は「子どもたちが少なくなった時代だからこそ、子どもに対する教育

支援が必要になってくる。ぜひ役に立ててほしい」と話した。小林市長は寄付金を入学祝い品事業に使用し「子どもたちの教育環境をどうつくり上げていくかが最大の命題。市の将来を担う子どもたちを育てていきたい」と感謝した。